



2022年8月9日

各位

会社名 星光PMC株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 菅 正道
(コード番号 4963 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理本部長 河野 宏治
(TEL 03-6202-7331)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年12月期における第2四半期において、下記の通り営業外収益（為替差益）を計上することになり、これを主たる理由に、2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期の業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上について

当第2四半期連結累計期間において、急激な為替相場の変動により、為替差益490百万円を営業外収益に計上しました。これは、主に海外子会社へのグループ内貸付金に対して、期末為替レートによる評価替で発生したものであります。

2. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 33,460	百万円 2,040	百万円 2,160	百万円 1,470	円 銭 48.48
今回修正予想(B)	32,840	2,040	2,690	1,970	64.97
増減額(B-A)	△620	—	530	500	
増減率(%)	△1.9	—	24.5	34.0	
(ご参考) 前期実績(2021年12 月期)	31,032	2,867	3,139	2,082	68.69

3. 修正の理由

2022年12月期通期の業績につきましては、売上高については前回予想を2%弱下回る見込みですが、営業利益については前回予想を据え置いております。これは、とりわけ下期において、ナフサを中心とする原材料価格が一段と上昇する見込みであり、事業環境が厳しさを増していく中、製品価格への転嫁、差別化製品の国内外へのより積極的な拡販や諸経費の減少等により、吸収が可能と見込んでいることによります。

経常利益、および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、「1. 営業外収益（為

替差益)の計上について」に記載した要因により、連結業績予想数値を上方修正いたしました。尚、今後の為替相場の動向は不透明であるため、第3四半期以降の為替レートは当第2四半期末と同水準を前提とし、下期の為替差損益は発生しない見通しとしております。

今後も原燃料価格の更なる上昇、サプライチェーンの混乱、不安定な為替の動向等につきまして引き続き注視し、売上・利益の確保に努めてまいります。

※ 上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上